

Enigma Sopranino の導入(10)

—EMI DSL529 への付加—

1. 始めに

前報(9)までは Enigma の Sopranino をメインシステムの FAL C90EXW と JBL4350A に加えた場合を報告してきましたが、今回はサブシステムの EMI DSL529 への付加について実施します。

2. Sopranino の試聴方法

DSL529 にパラに Sopranino を接続するだけです。DSL529 は Leak Pont1 と IPC 1029 で駆動することとします。Sopranino の比較対象として Take2 の BAT1 も聴いてみました。

入力は、BS 録画の再生、EMT981 による CD 再生、micro iDSD 経由の HQPlayer による DSD の Native 再生などから適宜選択して試聴します。



DSL529

3. Sopranino の試聴結果

DSL529 単独でも、パワーリベラメンテの効果が効いてきて、かなりバランスの良い音がしていますが、Sopranino を加えますと、ぐっと高域がしなやかになり、奥行き感が出てきます。しなしながら、DSL529 のコーンツイーターと音が被っているように感じましたので、カットオフ周波数を 8KHz →10KHz →12KHz と替えていきますと、12KHz がもっとも好ましいことがわかりました。

Sopranino の比較対象として Take2 の BAT1 に繋ぎかえますと、これはこれで悪くはないのですが、弦の艶は一步後退し、Sopranino と比べると単調に聴こえてしまい

ます。最後に BAT1 も外して DSL529 単独に戻しますと、コーンツイーターの限界がはっきりと分かりました。

4. まとめ

DSL529 に Sopranino を加えますと、とてもビートルズ時代のアビーロードスタジオモニターとは思えないフレッシュな音がするようになりました。

以上